



今月の言葉・・・2021年9月24日

しっふう けいそう しる 疾風に勁草を知る

【強い風が吹いた時に本当の強い草が解かる】

社会生活を営む毎日の中で、辛い場면을体験することは誰にもある事だと思います。辛さは個人個人の主観でしか測れません。故に辛い場面から脱却する方法やそれに要する時間は個人差があって当然です。

難儀な事が起こると、また苦手な事に直面すると、誰でも風よけしたくなります。ただ、一時的に風よけをしても難儀は去ってくれません。面倒な事を誰かが片付けてくれたら、片付けをしてくれた人が体験を積み、特を積むのであって、風よけに逃げた人はそのチャンスを逃します。

辛いなアと感じた時こそ、自分の足元の踏ん張りを確認し、弱っていたら補強し、栄養不足を感じたら良い水と、消化に良い食事を摂り、体力をつけるのです。

一時しのぎをした人には、改めて姿を変えてその場面がやってくると言われています。

姿を変えるので、一見違う難儀が次々襲ってくるように感じるかも知れません。

しかし、それは気づきのヒントであって、その時にちゃんと自分と内省して足元を見る癖をつけると、原因がはっきり見えて来て対応ができるのです。学べるはずなのです。

人の性格、根性というのはなかなか上手く変える事は出来ません。私も同じです。ですから自分の目の前に起こっている難儀な事にしっかり目を向け、どう対処していくかを真剣に考えます。土の改良をしたと思っても、バランスが悪いと根の成長が止まります。

水はけが悪いと根腐れが起こって、回復が難しくなります。

その代わり、程よい土壌にのびのびと自分の良い根を這わせる為に、出来る事を毎日の中で探し、それを行いに变えていく頃が大事だと思って小さな約束を守るようにしています。

根腐れ現象は組織の在り方にも通じる事を良く例に示されます。

ネジの緩みという表現も同様です。緩んでいるネジを見つけても、まだ何とか回っているからもう少し様子を見よう…など呑気な事を言ってネジの締め忘れを放置していると、ある日突然組織の輪が脱輪し大事故になります。

突然の強風が吹いたとしても、たやすくへこたれない強い根っこを作り、少し緩んだと感じるネジに気を留めて、その時々適度に締めておくことが柔軟で健やかな組織作りが出来ます。また真（芯）の強い人間として成長する為に必要なことなのだと思います。

強くなる過程を何度も重ねている人こそが、真のやさしさを提供し、辛い人に寄り添う事が出来るのだと思います。